

▶ 沙崙グリーンエネルギーサイエンスシティ

グリーンイノベーションおよびグリーン経済は産業を向上させるための重要な要素であり、世界的なエネルギー転換において重要な課題でもあります。グリーンエネルギーの発展と循環経済の将来的な相互作用、業種を超えた統合は、産業発展におけるキーワードとなります。このため、台南市政府は中央と協力し、台湾で唯一となるグリーンエネルギー科学技術を主軸とした「沙崙グリーンエネルギーサイエンスシティ」を創り、スマートエコシティと大自然との共生を構築するとともに、「人」を尺度とした地域社会発展の構築により、周辺園区の産業および高等教育機関との繋がりを強化し、グリーンエネルギー産業の生態チェーンを連結させます。

グリーンエネルギー科学技術連合研究センター、グリーンエネルギー科学技術実証地域、大台南コンベンションセンター、自動運転試験場、中央研究院南分院の主要建築物がある敷地の面積は約 27.47 ヘクタールで、徐々に周辺にある研究開発機関およびサイエンスパーク、工業エリアとリンクしつつあります。工事は 2019 年末に次々と完工しますが、台湾におけるグリーンエネルギー国内市場の創造および世界に対し台湾の研究開発エネルギーを段階的にアピールしていくことを予定しています。

